

「私の撮っておき」

興味を持ったときにシャッターを押す。難しく考えないで、ただシャッターを押すだけなのに、これがなかなか難しい。他人の評価を気にしたり、上手に撮りたくなったりしてしまふ。素直にシャッターを押すだけなのに。

(小林一久)

カメラアングル

紙上写真館



「雲間」(曾根田 智・富士宮市城北町)

山頂は風が強く、雲が目まぐるしく動き、時折、頂きまではっきりと見えた＝富士宮市街 (Nikon D500)



「古木の雄姿」(戸塚 三樹雄・富士宮市舞々木町)

太い幹から新芽が成長して、桜の花が咲き誇っている模様＝富士宮市内 (Nikon D600)



「山開きの頃」(塩川 聡・富士宮市淀平町)

平成最後の山開きは、夏の日差しが強かったです＝富士山本宮浅間大社 (FUJIFILM X20)



「代かき」(畑山 清治・富士宮市大岩)

まだ富士山に雪が残るこの時期、田んぼに水を入れ、土をかき混ぜる「代かき」が始まりました。耕運機と富士山の絵、思わずシャッターを押しました＝富士宮市白糸 (Canon PowerShot)

全日本写真連盟
富士宮支部